

山縣操三郎 （山縣操三郎） 社會教育家。安政五年十一月十七日近江國生れ、

昭和十五年一月十八日歿（八六—一九四）。號仙郷學人、隈江生。明治

十二年東京師範學校卒。教職を経て文部省御用掛となり鑄造局勤務。

十九年官を辭し、雜誌「學海之指針」を、次いで兒童雜誌の嚆矢「少年

園」を、爾來「少年文庫」、（少年文庫）、「青年文」、（青年文）、「文庫」、（文庫）、「東京獨り雜誌」、

「教師之友」、（教師之友）、「家庭之友」、（家庭之友）、「新帝國」等多くの雜誌を創刊。亦

内外出版協會を興し、山縣貸出圖書館を設立。後年梨花女子專門學校

教授を務めた。英文學者山縣五十雄の兄。

譯著書、バツケン一著「理科仙郷・第九」（譯補、明治二十年七月普

及舎）、（小學）「小學日本歴史・卷之上」（訂正再版、明治二十一年七月）

十四「台學海指針社」、（帝國小史・甲號）（卷之一、卷之二）訂正。

明治二十六年八月二十一日文藝社）、（少年訓）（第一集）（編、明

治二十二年八月十九日内外出版協會）、（少年訓・第一集）（編、明

治二十二年十月内外出版協會「少年園叢書」）、（男女學生氣質）（附錄

生復法）（合著・新八論社）高島大圓編、明治二十九年二月）

九日（鶴聲堂書店）、サミュエル・スマイルズ著「新付筋論」（譯、水

島耕一郎校訂、明治四十五年二月十五日内外出版協會）、（児孫の）余

の生涯を語る（昭和二十七年七月）

月二十日弘隆社）等。

